

# 山行報告書

作成: 2006年10月23日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	市ノ瀬から杉峠・三ノ峰・別山(周回)	目的[方法]	ブナ黄葉の観賞と新雪の白山展望
期間	2006年10月20日(金)~22日(日)	形態	1泊2日(テント携行避難小屋泊)
参加人数	4人		

## 行動記録:

10/20(金) 曇り、無風、22 @岡崎

岩津市民C(2055) =0:10= 豊田東IC(2105) =0:50= 美濃関CT(2155) =0:30= 白鳥IC(2225)[ ¥ 3,400] =0:30= 道の駅「九頭竜」(2255,2300) =0:40= 勝山FM(2340,2345) =0:50= 市ノ瀬PKG(035)TS1 就寝(1:05)

10/21(土) 曇り、無風、11 @市ノ瀬

起床(5:00) TS1(610) -0:20- 三ッ谷橋(630) -0:25- 林道「三ッ谷西俣線」分岐(655) -0:09- 三ッ谷登山口(704,720) -0:06- 尾根上(726) -0:36- C1100m(802,815) -0:43- 平坦部(858,913) -0:57- 杉峠(1010,1025) -1:05- 六本松(1130,1155) -0:47- 剣ヶ岩(1242,1250) -0:40- 休憩ベンチ(1330,1340) -0:35- 三ノ峰避難小屋(1415)TS2 就寝(18:30)

10/22(日) 快晴、微風、3 @三ノ峰

起床(3:30) TS2(455) -0:10- 三ノ峰(505) -1:00- 別山平「御手洗池」(605,625) -0:40- 別山(705,720) -0:20- 御舎利山(740,743) -0:31- 別山 1.5km・チブリ尾根避難小屋 1.3km・市ノ瀬 7.9km 地点(814) -0:26- チブリ尾根小屋(840,922) -0:56- 別山 4.7km・チブリ尾根避難小屋 1.9km・市ノ瀬 4.7km 地点(1018) -0:07- 別山 4.9km・チブリ尾根避難小屋 2.2km・市ノ瀬 4.5km 地点「釈迦岳展望台」(1025,1035) -0:39- 上の水場(1114,1130) -0:13- 下の水場(1153) -0:37- 猿壁堰堤(1230) -0:25- 市ノ瀬PKG(1255,1312) =0:18= 天望の湯「御前峰」(1330,1440)[ ¥ 650] =0:45= 福そば「陽明店」(1525,1600) =1:05= 白鳥IC(1705) =0:20= 岐阜大和IC(1725)[ ¥ 250] =0:30[R158]= 美並IC(1755) =0:25= 美濃加茂SA(1820,1845) =0:35= 豊田松平IC(1920)[ ¥ 1,450] =0:18= 岩津市民C(1938)

## 概念図:



## 日誌:

【10/21(土) 曇りのち晴れ、無風、11 @市ノ瀬】

5時起床、曇っているせいか、今朝は冷え込まなかった。しかし、チブリ尾根上部の登山道凍結に備えて、念のためアイゼンを携行する。

6時10分、山行計画書を登山届ポストに投函し、三ッ谷登山口に向かう。西俣谷川に架かる橋を渡った処が「埋め火の里」で、ここの分岐を更に左に進む。暫くで三ッ谷登山口に到着する。市ノ瀬から約1時間、丁度良いウォーミングアップである。三ッ谷登山口には、赤布2本が入り口の両側に目印として付けられている。

小さな流れで少しぬかるんだ処を通り抜け尾根に取り付く。足元はしっかりしており、急な登りでもないので、5分ほど境界杭のある尾根上に至る。ここから杉峠まで尾根道を辿る。若いブナの明るい林で、下草や笹の繁茂もなく、落ち着いた雰囲気を感じ出している。彩のなかった林だが、加越国境稜線に近づくにつれ、次第に赤や黄色が鮮やかさが目立ってきた。登山道は、杉峠の北にあるP1343mの西側を巻いて付いている。幾つも小さな谷の上部をトラバースして行く。木の根、笹などが多くて少し歩き難い箇所である。水場を過ぎると杉峠は近い。杉峠はそう広くはないが明るい気持ちの良い場所である。朽ちた道標が訪れる人の少なさを現している。東に取り、六本松を経由して今夜の宿三ノ峰避難小屋に向かう。国境稜線辺りが黄葉の盛りである。林の切れ間からは錦衣を纏った三ノ峰、一ノ峰、銚子ヶ峰、願教寺山などが眺められる。紅葉の林を抜けてしばらく歩くと馴染みの六本松に着く。ここから先は既報が多いので割愛する。

感想: 好天气に恵まれて、爽やかな紅葉狩りができました。三ッ谷登山口から杉峠は登り、降りどちらに用いても問題ないように思います。市ノ瀬基点で周回できる重宝なルートです。